

課題別講義

年次	学期	学則科目責任者
6年次	前学期	6年次学年教育主任

学修目標 (G I O) と 単位数	・単位数：3 ・学修目標（G I O）：臨床歯科医学における問題解決能力の素地を養うために、歯科基礎医学的知識について習得する。
担当教員	小見山 道、平山 聡司、宇都宮 忠彦、平塚 浩一、松野 昌展、田口 千恵子、谷本 安浩、加藤 治、玉村 亮、栗原 紀子、松本 裕子、有川 量崇、多田 充裕、落合 智子、近藤 信太郎、笹井 啓史、續橋 治、岩崎 太郎、後藤田 宏也、西山 典宏、伊東 浩太郎、6年次学年教育主任、五十嵐 由里子
講義実施要項	1) 講義教室：400教室 2) 講義時間：4月は8:40～9:30(50分間)、5・6月は8:40～10:30(110分間) 3) 講義時間内に当日の講義内容についてのチェックテスト(10分程度、客観問題)を実施する。
評価方法 (E V)	平常試験1～5(40%)、臨床演習1～3(20%)及び総合試験(40%)で算出した正答率が70%以上の者を課題別講義の合格者とする。ただし、確認テストの成績を加味する。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/04/03 (月) 1時限 08:40～09:30	生体を構成する基本物質とその代謝、ホメオスタシス	【授業の一般目標】 身体を構成する基本物質を理解するために、タンパク質・炭水化物・脂質等の構造や特徴および代謝経路を学ぶ。 【行動目標（SBOs）】 1. タンパク質を構成するアミノ酸の構造と性状を説明できる。 2. 炭水化物の種類と特徴を説明できる。 3. 脂質の構造と特徴を説明できる。 4. ビタミンの種類とその欠乏症を説明できる。 5. エネルギー代謝経路を説明できる。 6. 脱アミノ反応、β酸化、オルニチン回路を説明できる。 7. 酵素の特徴を説明できる。 8. 血糖値の調節を説明できる。 9. 血中カルシウム濃度の調節を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 配布されているプリントを予習して自分のわからないところを探しておくこと。 準備学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング；無 プリント配布 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 ア 生体を構成する基本物質 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 b 細胞・細胞内小器官の構造・機能 d 生体構成成分の構造・機能 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 ア 生体を構成する基本物質 イ 細胞の構造・機能	平塚 浩一
2017/04/04 (火) 1時限 08:40～09:30	全身の解剖学（人体の構造と機能概要）	【授業の一般目標】 全身の器官系の構成を理解することにより構造と機能に関する基礎的な知識を習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 消化器系の構成を説明できる。 2. 呼吸器系の構成を説明できる。 3. 泌尿器系の構成を説明できる。 4. 循環器系の構成を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 各器官系を構成する器官の名称を復習する。30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 プリントの配布、マルチメディアを使用。 【学修方略（LS）】	松野 昌展

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/04/04 (火) 1時限 08:40～09:30	全身の解剖学（人体の構造と機能概要）	講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系（骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系）	松野 昌展
2017/04/05 (水) 1時限 08:40～09:30	歯科疾患の予防・管理 ①	【授業の一般目標】 適切な健康管理、増進を行うために、齲蝕の予防・管理について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 齲蝕の病因について説明できる。 2. 齲蝕活動性試験・評価について説明できる。 3. 代用甘味料について説明できる。 4. 齲蝕の予防手段について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：齲蝕予防についてこれまでの学修を通して理解できていること、理解できていないことの整理をする。 ・準備学修時間： 60 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 PC/資料配布 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 オ 齲蝕の予防手段 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 ア 齲蝕の原因 イ 齲蝕リスク検査・評価 キ フッ化物の応用法 ク 根面齲蝕の予防	田口 千恵子
2017/04/06 (木) 1時限 08:40～09:30	歯科材料・歯科生体材料の物理的および力学的性質、応力-ひずみ曲線	【授業の一般目標】 歯科材料・歯科生体材料を理解するために、それらの物理的および力学的性質について学習する。 【行動目標（SBOs）】 1. 金属材料、高分子材料、セラミック材料および複合材料の種類と性質について説明できる。 2. 歯科生体材料の物理的および力学的性質について説明できる。 3. 応力-ひずみ曲線について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：SBOsについて教科書を確認する。 準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 a 基本的性質 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅺ 歯科材料と歯科医療機器 1 生体材料の科学 オ 物理的性質 カ 機械的性質	谷本 安浩
2017/04/07 (金) 1時限 08:40～09:30	循環の生理	【授業の一般目標】 血圧調節機構を理解するために、心臓の構造と機能を学ぶ。 【行動目標（SBOs）】 1. 心臓の構造と機能を説明できる。 2. 弾性血管の機能を説明できる。	加藤 治

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/04/07 (金) 1時限 08:40～09:30	循環の生理	3. 最高血圧と最低血圧の意義を説明できる。 4. 血圧の調節機構を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：高血圧症患者に対する歯科診療の注意点を確認しておく。 ・準備学修時間： 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 プリントの配布、チェックテストの実施 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 エ 循環器系＜脈管系＞ 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系（骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系）	加藤 治
2017/04/10 (月) 1時限 08:40～09:30	先天異常・奇形	【授業の一般目標】 病因・病態を理解するために、先天異常及び奇形に関する病理学的知識について学修する。 【行動目標（SBOs）】 1. 先天異常を分類できる。 2. 遺伝障害について説明できる。 3. 胎児障害について説明できる。 4. 奇形の成り立ちについて説明できる。 5. 口腔・顎・顔面領域の代表的な先天性疾患の特徴について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目： ・遺伝障害 ・胎児障害 ・症候群、特に色素沈着を認めるものと腫瘍を随伴するもの 準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有り：WebClass マルチメディア 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 b 先天異常、発育異常 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 歯・口腔・顎・顔面の疾患の概念 h 先天異常、発育異常 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 11 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 ア 先天異常・後天異常 ケ 口腔・顎顔面領域に症状を伴う全身疾患	宇都宮 忠彦
2017/04/11 (火) 1時限 08:40～09:30	細胞および上皮組織の構造	【授業の一般目標】 人体の構造を理解するために、細胞と上皮組織の構造について習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 真核細胞の構造を説明できる。 2. 核の構造を説明できる。 3. 細胞小器官を列挙し、それぞれの特徴を説明できる。 4. 細胞死の種類を列挙し、それぞれの特徴を説明できる。 5. 上皮組織を分類し、それぞれの形態学的特徴と存在部位について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：細胞の構造、上皮組織の構造 準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：プリント配布、PPスライド 【学修方略（LS）】	玉村 亮

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/04/11 (火) 1時限 08:40～09:30	細胞および上皮組織の構造	講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 b 細胞・細胞内小器官の構造・機能 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 c 組織（上皮組織、支持組織（血液を含む）、筋組織、神経組織） 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 イ 細胞の構造・機能 オ 上皮組織	玉村 亮
2017/04/12 (水) 1時限 08:40～09:30	歯科疾患の予防・管理 ②	【授業の一般目標】 歯科疾患の予防・管理を行うために、歯周疾患の予防・管理、歯・口腔の不潔、機能・育成について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 歯周疾患の病因について説明できる。 2. 歯周疾患のリスク因子について説明できる。 3. 歯周疾患の予防手段について説明できる。 4. 歯の沈着物について説明できる。 5. 口腔ケアについて説明できる。 6. ライフステージにおける保健指導について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯周疾患の予防、歯の沈着物に関して学修しておく。 ・準備学修時間： 60 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 PC/資料/教科書 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 2 歯周病の予防・管理 オ 歯周病の予防手段 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 2 歯周病の予防・管理 ア 歯周病の病因 イ 歯周病のリスクファクター・診断 ウ ライフステージと歯周病 エ 歯周病と生活習慣病のリスク カ 歯周病の予防効果の評価 6 保健指導 ア 口腔清掃の意義 イ 口腔清掃法 ウ 口腔清掃指導 カ ライフステージと口腔機能育成・増進指導	田口 千恵子
2017/04/13 (木) 1時限 08:40～09:30	微生物の基本的性状	【授業の一般目標】 微生物について理解するために、形態学および生理学的特徴について学修する。 【行動目標（SBOs）】 1. 細菌の基本的性状を説明できる。 2. 真菌の基本的性状を説明できる。 3. ウイルスの基本的性状を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：微生物の分類、細菌の構造物と機能、生理と代謝について学修しておく。 準備学修時間：60分程度 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント、チェックテスト 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論	栗原 紀子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/04/13 (木) 1時限 08:40～09:30	微生物の基本的性状	総論Ⅵ 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物	栗原 紀子
2017/04/14 (金) 1時限 08:40～09:30	薬物の保管・管理、臨床試験	【授業の一般目標】 薬物療法を理解するために、薬物の保管・管理、臨床試験に関する知識を習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 薬物の管理について説明できる。 2. 臨床試験について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目： ・薬物の保管・管理 ・臨床試験 準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、チェックテストの実施 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 k 薬物の保管・管理 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅹ 治療 9 薬物療法 ツ 薬物の保管・管理 テ 臨床試験	松本 裕子
2017/04/17 (月) 1時限 08:40～09:30	平常試験 1	【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：講義ノート、講義配布資料、教科書、実践問題集等 ・準備学修時間：十分な準備学修時間をとること 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室	6年次学年教育主任
2017/04/18 (火) 1時限 08:40～09:30	神経系総論・自律神経	【授業の一般目標】 末梢神経の機能と中枢との関係を理解するために神経系の概要と脳神経核と神経節の構造的機能的意味を習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 中枢神経の区分と機能を説明できる。 2. 末梢神経の構造的、機能的区分を説明できる。 3. 脳神経核の構造と機能を説明できる。 4. 神経節の構造と機能を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 中枢神経を構成する各部の名称を復習する。脳神経の分布領域を復習する。30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 プリントの配布、マルチメディアを使用。 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 キ 神経系＜中枢・末梢神経系＞ 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系（骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系）	松野 昌展
2017/04/19 (水) 1時限 08:40～09:30	歯科疾患の予防・管理 ③	【授業の一般目標】 不正咬合と口臭の保健管理を行うために、不正咬合の予防、口臭の原因等について理解できる。 【行動目標（SBOs）】	有川 量崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/04/19 (水) 1時限 08:40～09:30	歯科疾患の予防・管理 ③	1. 不正咬合の予防・管理について説明できる。 2. 口臭の予防・管理について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 不正咬合と口臭の保健管理の項目に30分程度学修すること。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無・教科書、資料 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 4 口臭の予防・管理 ウ 口臭の予防・治療 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 3 不正咬合の予防・管理 イ 不正咬合発生の予防 4 口臭の予防・管理 ア 口臭の原因 イ 口臭の診断	有川 量崇
2017/04/20 (木) 1時限 08:40～09:30	歯科材料・歯科生体材料の化学的および生物学的性質、義歯床用材料	【授業の一般目標】 歯科材料・歯科生体材料を理解するために、それらの化学的および生物学的性質、義歯床用材料について学習する。 【行動目標（SBOs）】 1. 歯科生体材料の化学的および生物学的性質、生体安全性について説明できる。 2. 義歯材料の種類、組成および性質について説明できる。 3. 義歯床用アクリルレジンの変形の原因およびその対策について説明できる。 4. 義歯床用裏装材の種類、組成および性質について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：SBOsについて教科書を確認する。 準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 a 基本的性質 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅺ 歯科材料と歯科医療機器 1 生体材料の科学 キ 化学的性質 ク 生物学的性質と生体安全性 9 義歯用材料 ア 基礎床材料 イ 加熱重合型アクリルレジ ウ 常温重合型アクリルレジ エ ポリスルフォン、ポリカーボネート オ 人工歯 カ 義歯床用裏装材	谷本 安浩
2017/04/21 (金) 1時限 08:40～09:30	呼吸の生理	【授業の一般目標】 呼吸調節を理解するために呼吸器の構造とガス運搬について学ぶ。 【行動目標（SBOs）】 1. 呼吸器の構造と運動調節を説明できる。 2. ヘモグロビン酸素解離曲線の意義を説明できる。 3. 二酸化炭素の排泄とpHの関係について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：過換気症候群の対応について確認しておく。 ・準備学修時間： 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 プリントの配布、チェックテストの実施 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室	加藤 治

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/04/21 (金) 1時限 08:40～09:30	呼吸の生理	【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ウ 呼吸器系 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系（骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系）	加藤 治
2017/04/24 (月) 1時限 08:40～09:30	循環障害	【授業の一般目標】 病因と病態を理解するために、循環障害に関する病理学的知識を習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 循環血液量の異常を列挙し、その病理学的特徴について説明できる。 2. 閉塞性循環障害を列挙し、その病理学的特徴について説明できる。 3. ショックの分類と病理学的特徴について述べるができる。 4. 側副循環の異常について解説できる。 5. 浮腫の成り立ちや病態について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目： ・循環血液量の異常(充血、うっ血、虚血、出血、側副循環の異常、ショック) ・閉塞性循環障害(血栓、塞栓、梗塞、DIC) 準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングあり：WebClass マルチメディア 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 h 循環障害 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 9 主要な症候 ア 全身の症候 a 発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、失神、脱水、浮腫、けいれん、めまい、咳、喀痰、喘鳴、チアノーゼ、胸痛、呼吸困難、息切れ、動悸、頻脈、徐脈、不整脈、血圧上昇・低下、食思（欲）不振、悪心、嘔吐、下痢、貧血、睡眠障害、頭痛、頭重感、摂食・嚥下障害 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 4 循環障害 ア 全身の循環障害 イ 局所の血液分布異常 ウ 閉塞性の循環障害	宇都宮 忠彦
2017/04/25 (火) 1時限 08:40～09:30	支持組織（結合組織、筋組織および神経組織）の構造	【授業の一般目標】 支持組織における結合組織、筋組織および神経組織の構造について習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 結合組織の分類を説明できる。 2. 結合組織を構成する線維を説明できる。 3. 結合組織に存在する細胞を説明できる。 4. 筋組織を分類し、それぞれの構造学的特徴を説明できる。 5. 神経組織の構造を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：結合組織、筋組織および神経組織の構造 準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：プリント配布，PPスライド 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 c 組織（上皮組織、支持組織（血液を含む）、筋組織、神経組織） 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織	玉村 亮

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/04/25 (火) 1時限 08:40～09:30	支持組織（結合組織、筋組織および神経組織）の構造	カ 支持組織	玉村 亮
2017/04/26 (水) 1時限 08:40～09:30	医療面接と診療録記載	【授業の一般目標】 適切な医療を行うために、医療面接の技法およびPOMRに基づく問題指向型診療録（POMR）の記載方法を理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 医療面接における質問法を説明できる。 2. 医療面接の目的を説明できる。 3. 非言語的コミュニケーションについて説明できる。 4. 面接者の適切な態度について説明できる。 5. POMRの構成要素を説明できる。 6. POMRの記載方法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・医療面接（質問法、医療者の態度、非言語的メッセージ） ・診療録記載（POMR、SOAP） 50分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 配布資料 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 8 医療面接 ア 意義、目的 b 患者歯科医師関係の確立 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー d コミュニケーションの進め方（質問法、傾聴の仕方、非言語的コミュニケーション） ウ 病歴聴取 a 主訴 b 現病歴 d 既往歴	多田 充裕
2017/04/27 (木) 1時限 08:40～09:30	自然免疫と獲得免疫	【授業の一般目標】 感染防御における免疫のしくみを理解するために、免疫機構の概要に関する知識を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 免疫担当臓器、細胞について説明できる。 2. 自然免疫について説明できる。 3. 獲得免疫について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：免疫組織及び担当臓器、自然免疫に関与する細胞・分子、獲得免疫（体液性免疫、細胞性免疫）について学修しておく。 準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、チェックテスト 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 f 免疫（自然免疫、獲得免疫） 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 3 免疫 ア 免疫系臓器、免疫担当細胞 イ 免疫応答とその調節 ウ 自然免疫 エ 獲得免疫	落合 智子
2017/04/28 (金) 1時限 08:40～09:30	薬物の作用部位・作用機序	【授業の一般目標】 薬物療法を理解するために、薬物の作用部位・作用機序に関する知識を習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 受容体を介する作用を説明できる。 2. 受容体を介さない作用を説明できる。	松本 裕子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/04/28 (金) 1時限 08:40～09:30	薬物の作用部位・作用機序	【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目： ・受容体を介する薬物 ・受容体を介さない薬物 準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、チェックテストの実施 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 エ 薬物の作用部位 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 オ 薬物の作用部位・作用機序	松本 裕子
2017/05/01 (月) 1時限 08:40～10:30	細胞外基質と炎症性ケミカルメディエーター	【授業の一般目標】 細胞の情報伝達と炎症の発症を理解するために、細胞外基質と炎症性ケミカルメディエーターの種類と特徴を学ぶ。 【行動目標（SBOs）】 1. 細胞外基質を列挙できる。 2. 細胞接着配列を説明できる。 3. コラーゲン・ラミニン・プロテオグリカンの違いを説明できる。 4. コラーゲンの合成過程および分解過程を説明できる。 5. MMPの種類と特徴を説明できる。 6. 炎症性ケミカルメディエーターの種類を列挙できる。 7. アミン類やキニン類の合成と特徴を説明できる。 8. サイトカインの定義と種類を説明できる。 9. エイコサノイドおよびPAFの合成を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 2年次・4年時に配布したプリントを総合的に復習し、忘れていた箇所をチェックしておく。 準備学修時間：2時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 プリント配布 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 ウ 細胞間情報伝達機構 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 d 生体構成成分の構造・機能 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 5 炎症 エ 炎症の機序・病態	平塚 浩一
2017/05/08 (月) 1時限 08:40～09:25	平常試験 2	【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：講義ノート、講義配布資料、教科書、実践問題集等 ・準備学修時間：十分な準備学修時間をとること 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室	6年次学年教育主任
2017/05/09 (火) 1時限 08:40～10:30	頭蓋冠・頭蓋底	【授業の一般目標】 頭蓋骨の構造を理解するために頭蓋冠、頭蓋底を構成する各骨を説明できる。 【行動目標（SBOs）】 1. 頭蓋冠の構造を説明できる。 2. 蝶形骨の構造を説明できる。 3. 側頭骨の構造を説明できる。 4. 後頭骨の構造を説明できる。	五十嵐 由里子 近藤 信太郎 松野 昌展

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/05/09 (火) 1時限 08:40～10:30	頭蓋冠・頭蓋底	5. 篩骨の構造を説明できる。 6. 前頭骨の構造を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 頭蓋骨を構成する15種23個の名称を復習する。30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有 頭蓋骨標本の観察を行う。 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第3実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 e 頭蓋を構成する骨（神経頭蓋、内臓頭蓋） 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 ア 頭頸部の骨	五十嵐 由里子 近藤 信太郎 松野 昌展
2017/05/10 (水) 1時限 08:40～10:30	保健医療総論①	【授業の一般目標】 歯科医師として必要な法と制度を学び、社会において医療従事者としての役割と責任について理解し修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 1. 社会保障の定義と制度体系について説明できる。 2. 2. 保健、医療、福祉（介護を含む）の各制度について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：社会保障制度 ・準備学修時間：180分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 6 チーム歯科医療 オ 社会生活 b 社会保障制度（所得、介護、障害） 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ 保健・医療・福祉・介護の制度 f 保健・医療・福祉・介護の各制度と職種 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健医療論 2 保健・医療・福祉・介護関係法規 ウ 医療保障・社会福祉・介護保険関連法規 3 保健・医療・福祉・介護の仕組みと資源 ク 保健・医療・福祉・介護の制度と連携 必修の基本的事項 1 6 チーム歯科医療 イ 地域医療でのチームワーク a 病診連携 b 診診連携 c 保健・医療・福祉・介護・教育の連携 e 地域連携クリニカルパス 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健医療論 2 保健・医療・福祉・介護関係法規 ウ 医療保障・社会福祉・介護保険関連法規 3 保健・医療・福祉・介護の仕組みと資源 イ 医療機関 4 地域保健、地域医療 イ 医療計画、健康増進計画	笹井 啓史
2017/05/11 (木) 1時限 08:40～10:30	模型材、ワックス、 鋳造の要点、埋没材	【授業の一般目標】 精度の良い鋳造体を作製するための方法を理解するために、模型材、ワックス、埋没材および歯科精密鋳造について学習する。 【行動目標（SBOs）】 1. 歯科用石膏の種類、組成および性質について説明できる。 2. 歯科用ワックスの種類、組成および性質について説明できる。 3. ワックスパターンの変形の原因およびその対策について説明できる。 4. 鋳造用埋没材の種類、組成および性質について説明できる。 5. 歯科精密鋳造の原理と鋳造欠陥の発生原因およびその対策について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】	谷本 安浩

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/05/11 (木) 1時限 08:40～10:30	模型材、ワックス、 鋳造の要点、埋没 材	準備学修項目：SB0sについて教科書を確認する。 準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 c 模型材 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 6 歯科用ワックス ア インレーワックス 12 金属の成形技術・機器 ア 鋳造工程 イ 石膏系鋳型材 ウ リン酸塩系鋳型材 エ 鋳造精度 オ 鋳造欠陥	谷本 安浩
2017/05/12 (金) 1時限 08:40～10:30	内分泌調節の生理	【授業の一般目標】 生体の体液性調節を理解するために、内分泌臓器とその機能について学ぶ。 【行動目標（SBOs）】 1. 内分泌臓器と標的臓器の違いを説明できる。 2. ホルモンの種類と作用を説明できる。 3. 血糖値調節を説明できる。 4. 血中カルシウム調節を説明できる。 5. 体液量調節を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：糖尿病の歯科診療時の注意点について確認しておく。 ・準備学修時間： 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 プリントの配布、チェックテストの実施 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論III 人体の正常構造と機能 2 器官系 ケ 内分泌系 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系（骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系）	加藤 治
2017/05/13 (土) 1時限 08:40～10:30	染色体とタンパク 質合成	【授業の一般目標】 染色体構造や遺伝情報の流れを理解するために、染色体・遺伝子の基本構造とDNAの複製およびタンパク質合成機序を学ぶ。 【行動目標（SBOs）】 1. 染色体の構成成分を説明できる。 2. テロメアを説明できる。 3. 核酸の種類と構造を説明できる。 4. 遺伝子の構造を説明できる。 5. 遺伝子の転写・複製を説明できる。 6. 翻訳後修飾を説明できる。 7. ストレスタンパク質とユビキチンを説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 2年生で配布したプリントを総合的に見直す。 準備学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング；無 プリント配布 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室	平塚 浩一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/05/13 (土) 1時限 08:40～10:30	染色体とタンパク質合成	【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 エ 遺伝子、遺伝 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 a 遺伝子、染色体	平塚 浩一
2017/05/15 (月) 1時限 08:40～10:30	退行性病変・進行性病変	【授業の一般目標】 病因・病態を理解するために、退行性病変及び進行性病変に関する病理学的知識について学ぶ。 【行動目標（SBOs）】 1. 萎縮、壊死(ネクロシス)、壊疽及びアポトーシスについて説明できる。 2. 変性を分類し、その特徴と代表的疾患について解説できる。 3. 代謝障害とその代表的疾患について説明できる。 4. 肥大、過形成(増生)、化生について分類し、説明できる。 5. 再生の基本について解説できる。 6. 創傷治癒と異物処理について解説できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目： ・萎縮の種類と特徴 ・変性の種類と特徴および代表的疾患 ・壊死、壊疽およびアポトーシスの特徴 ・肥大・過形成、再生、化生の特徴 ・創傷治癒機序 ・異物の処理機構 ・移植の病理学 準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有り：WebClass マルチメディア 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 i 代謝障害、萎縮、壊死、壊疽 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 c 損傷 j 病的増殖 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 2 細胞組織の傷害 ア 代謝障害（変性） イ 萎縮 ウ 細胞死 3 修復と再生 イ 肥大、過形成（増生） ウ 化生 エ 再生 オ 創傷治癒 カ 異物処理	宇都宮 忠彦
2017/05/16 (火) 1時限 08:40～10:30	骨組織と軟骨組織の構造、および血液の成分	【授業の一般目標】 人体の構造を理解するために、支持組織における骨組織と軟骨組織の構造、および血液の成分について習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 骨組織に存在する細胞を列挙し、その構造と特徴を説明できる。 2. 骨組織の基本構造について説明できる。 3. 骨改造現象について説明できる。 4. 軟骨組織を分類し、その構造学的特徴と主な存在部位を説明できる。 5. 血液の成分を列挙し、それぞれの特徴を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：骨組織と軟骨組織の構造、および血液の成分 準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：プリント配布，PPスライド 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室	玉村 亮

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/05/16 (火) 1時限 08:40～10:30	骨組織と軟骨組織の構造、および血液の成分	【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 c 組織（上皮組織、支持組織（血液を含む）、筋組織、神経組織） 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 カ 支持組織	玉村 亮
2017/05/17 (水) 1時限 08:40～10:30	保健医療総論②	【授業の一般目標】 歯科医師として必要な法と制度を学び、社会において医療従事者としての役割と責任について理解し修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 歯科医師法等歯科医師の法的義務について説明できる。 2. 医療関係職種の各身分に関する関係法規について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯科医師法他医療関係職種各身分法 ・準備学修時間：180分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ 保健・医療・福祉・介護の制度 a 歯科医師法 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ 保健・医療・福祉・介護の制度 b 歯科衛生士法 c 歯科技工士法 f 保健・医療・福祉・介護の各制度と職種 g 地域歯科保健活動での各職種の連携に関する制度	笹井 啓史
2017/05/18 (木) 1時限 08:40～10:30	感染と感染防御	【授業の一般目標】 微生物による感染症と感染防御を理解するために、感染の成立から疾患を発症するまでの過程と病原因子、また滅菌と消毒および化学療法について学習する。 【行動目標（SBOs）】 1. 感染経路と感染成立までの過程を説明できる。 2. 感染の種類と病原因子を説明できる。 3. 細菌性食中毒を説明できる。 4. 滅菌と消毒の種類と方法・適応を説明できる。 5. 化学療法の目的と化学療法薬の作用機序を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：感染経路、感染の種類、感染成立までの過程、細菌性食中毒の種類、滅菌と消毒の種類と方法・適応、化学療法の目的と化学療法薬の種類と作用機序を学修しておく。 準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、チェックテスト 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 ア 感染の概念	續橋 治
2017/05/19 (金) 1時限 08:40～10:30	適用方法、薬物動態	【授業の一般目標】 薬物療法を理解するために、適用方法、薬物動態に関する知識を習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 適用方法の種類と特徴を説明できる。 2. 吸収、分布、代謝、排泄を説明できる。 3. 生物学的半減期、生物学的利用能、治療薬物モニタリング（TDM）を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目： ・薬物の適用方法 ・薬物動態	松本 裕子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/05/19 (金) 1時限 08:40～10:30	適用方法、薬物動態	準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、チェックテストの実施 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 c 薬物の体内動態（吸収、分布、代謝、排泄） 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 イ 適用方法と剤形 ウ 薬物動態	松本 裕子
2017/05/22 (月) 1時限 08:40～10:20	平常試験3	【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：講義ノート、講義配布資料、教科書、実践問題集等 ・準備学修時間：十分な準備学修時間をとること 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室	6年次学年教育主任
2017/05/23 (火) 1時限 08:40～10:30	頭蓋骨・顎運動	【授業の一般目標】 頭蓋骨の構造と顎運動を理解するために、顎骨の構造と筋の付着部を説明できる。 【行動目標（SBOs）】 1. 上顎骨の構造を説明できる。 2. 口蓋骨の構造を説明できる。 3. 下顎骨の構造を説明できる。 4. 咀嚼筋の構造を説明できる。 5. 舌骨上筋群の構造を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 咀嚼筋と舌骨上筋の起始－停止、作用を復習する。30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有 頭蓋骨標本の観察を行う。 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第3実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 e 頭蓋を構成する骨（神経頭蓋、内臓頭蓋） 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 ア 頭頸部の骨 イ 頭頸部の筋 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 d 頭部の筋（表情筋・咀嚼筋の種類）	五十嵐 由里子 近藤 信太郎 松野 昌展
2017/05/24 (水) 1時限 08:40～10:30	保健医療総論③	【授業の一般目標】 歯科医師として必要な法と制度を学び、社会において医療従事者としての役割と責任について理解し修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 我が国の社会保障制度を踏まえた医療保険制度を説明できる。 2. 医療保険制度における医療費の動向を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：医療保険制度、医療経済 ・準備学修時間：180分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 【学修方略（LS）】 講義	笹井 啓史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/05/24 (水) 1時限 08:40～10:30	保健医療総論③	【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健医療論 6 社会保障と医療経済 イ 医療保険、介護保険 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 イ 歯科医療の社会的背景 b 国民医療費 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健医療論 6 社会保障と医療経済 ウ 医療経済と国民医療費	笹井 啓史
2017/05/25 (木) 1時限 08:40～10:30	印象材、合着・接着用材料、成形修復材料	【授業の一般目標】 印象材、合着・接着用材料および成形修復材料を理解するために、それらの基本的性質について学習する。 【行動目標（SBOs）】 1. 印象材の種類、組成および性質について説明できる。 2. 合着・接着用材料の種類、組成および性質について説明できる。 3. 成形修復材料の種類、組成および性質について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：SBOsについて教科書を確認する。 準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 b 印象材 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 e 合着・接着材 d 修復用材料	岩崎 太郎
2017/05/26 (金) 1時限 08:40～10:30	神経の生理	【授業の一般目標】 生体の神経性調節を理解するために、自律神経と体性神経の機能を学ぶ。 【行動目標（SBOs）】 1. 神経伝達物質を列挙できる。 2. 自律神経の機能を説明できる。 3. 口腔感覚神経の種類と走行の違いを説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：神経の解剖学的走行について確認しておく。 ・準備学修時間： 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 プリントの配布、チェックテストの実施 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 キ 神経系＜中枢・末梢神経系＞ 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系（骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系）	加藤 治
2017/05/27 (土) 1時限 08:40～10:30	炎症	【授業の一般目標】 病因・病態を理解するために、炎症に関する病理学的知識について学習する。	宇都宮 忠彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	炎症	【行動目標（SBOs）】 1. 炎症の5徴候と病理学的意義について説明できる。 2. 炎症の病因について述べるができる。 3. 急性炎症と慢性炎症の相違点について説明できる。 4. 炎症の病理組織学的分類(各型分類)と病態について解説できる。 5. 炎症性細胞の種類と機能について説明できる。 6. アレルギー、自己免疫疾患及び膠原病の分類と病理学的特徴について解説できる。 7. 代表的な口腔感染症及び口腔粘膜の皮膚科的疾患の病理学的特徴について述べるができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目： ・炎症の5徴候 ・急性炎症と慢性炎症の相違点 ・炎症の病理組織学的分類 ・炎症性細胞の種類と特徴 ・アレルギーの分類 ・自己免疫疾患の分類 ・主な口腔感染症 準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有り：WebClass マルチメディア 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 d 炎症 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 9 主要な症候 イ 歯・口腔・顎・顔面の症候のとらえ方 a 口腔・顎・顔面の一般的症候（疼痛、腫脹、腫瘍、色調の変化、熱感、出血、瘻、硬さの異常、触感の異常、機能障害） 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 5 炎症 ア 炎症の概念 イ 炎症の原因 ウ 炎症に関与する細胞 エ 炎症の機序・病態 オ 急性炎症、慢性炎症 カ 肉芽腫性炎の種類・特徴 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 エ 感染症 カ 自己免疫疾患 キ アレルギー反応（過敏症）	宇都宮 忠彦
2017/05/29（月） 1時限 08:40～10:30	歯と歯周組織および唾液の構成成分	【授業の一般目標】 口腔の機能を理解するために、歯と唾液および歯周組織のタンパク質の特徴を学ぶ。 【行動目標（SBOs）】 1. エナメル質の無機質・有機質の種類と特徴を説明できる。 2. 象牙質の有機質の種類とその特徴を説明できる。 3. 歯肉の代謝の特徴を説明できる。 4. 唾液緩衝作用・抗菌因子に関連する因子を列挙し機能を説明できる。 5. 唾液の消化酵素について説明できる。 6. 唾液の粘性と血液型判定について説明できる。 7. 唾液と歯肉溝滲出液の成分の違いを説明できる。 8. 歯肉の抗菌因子を説明できる。 9. 血清タンパク質の種類とその機能を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 2年次に配布したプリントを総合的に見直す。 準備学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング；無 プリント配布 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 5 口腔の生態系 ア 唾液 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項	平塚 浩一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/05/29 (月) 1時限 08:40～10:30	歯と歯周組織および唾液の構成成分	6 人体の正常構造・機能 ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 c 歯の構造・組成 d 歯周組織の構造・組成（根尖歯周組織、辺縁歯周組織） エ 口腔の生態系 c 唾液の作用	平塚 浩一
2017/05/30 (火) 1時限 08:40～10:30	エナメル質、セメント質および象牙質・歯髄複合体の構造	【授業の一般目標】 人体の構造を理解するために、エナメル質、セメント質および象牙質・歯髄複合体の構造を習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. エナメル質、セメント質、象牙質および歯髄の性質および構造を説明できる。 2. エナメル質、セメント質および象牙質の成長線を説明できる。 3. エナメル質、セメント質、象牙質および歯髄の加齢変化を説明できる。 4. 象牙質・歯髄複合体の考え方を説明できる。 5. 歯髄を構成する細胞成分および線維成分を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：エナメル質、セメント質および象牙質・歯髄複合体の構造 準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：プリント配布、PPスライド 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 c 歯の構造・組成 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 ウ エナメル質 エ 象牙質・歯髄複合体 オ セメント質	玉村 亮
2017/05/31 (水) 1時限 08:40～10:30	健康管理・増進と予防①	【授業の一般目標】 適切な健康管理を行うために、感染症対策、国民栄養・食品保健および環境保健について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 環境保健について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 環境保健について概説できる(60分) 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、チェックテスト 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 11 感染症対策 ア 感染症の疫学 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 13 環境保健 ア 環境と適応 イ 地球環境の変化・健康影響 ウ 環境汚染の発生要因・健康影響 エ 公害の健康影響と対策 オ 環境汚染の評価と対策 カ 廃棄物処理 キ 大気・水と健康	後藤田 宏也
2017/06/01 (木) 1時限 08:40～10:30	免疫異常（免疫不全、アレルギー、自己免疫疾患）	【授業の一般目標】 免疫疾患を理解するために、免疫異常（免疫不全、アレルギー、自己免疫疾患）に関する知識を習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 免疫不全について説明できる。 2. アレルギーの種類、発症機序を説明できる。 3. 自己免疫疾患の種類、発症機序を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】	落合 智子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/06/01 (木) 1時限 08:40～10:30	免疫異常（免疫不全、アレルギー、自己免疫疾患）	準備学修項目：免疫不全の種類、アレルギーの種類、発症機序、自己免疫疾患の種類、発症機序を学修しておく。 準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、チェックテスト 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 0 教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 オ 免疫不全 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 カ 自己免疫疾患 キ アレルギー反応（過敏症）	落合 智子
2017/06/02 (金) 1時限 08:40～10:30	鎮痛薬、抗炎症薬、止血薬、抗血栓薬	【授業の一般目標】 薬物療法を理解するために、鎮痛薬、抗炎症薬、止血薬、抗血栓薬に関する知識を習得する。 【行動目標（S B O s）】 1. 麻薬性・非麻薬性鎮痛薬を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。 2. ステロイド性抗炎症薬を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。 3. 非ステロイド性抗炎症薬を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。 4. 抗アレルギー薬を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。 5. 止血薬、抗血栓薬を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目： ・鎮痛薬の作用機序と副作用 ・抗炎症薬の作用機序と副作用 ・止血薬の作用機序と副作用 ・抗血栓薬の作用機序と副作用 準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、チェックテストの実施 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 0 教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅹ 治療 9 薬物療法 サ 鎮痛薬 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅹ 治療 9 薬物療法 シ 抗炎症薬 タ 止血薬、抗血栓薬	松本 裕子
2017/06/05 (月) 1時限 08:40～10:20	平常試験 4	【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：講義ノート、講義配布資料、教科書、実践問題集等 ・準備学修時間：十分な準備学修時間をとること 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 0 教室	6 年次学年教育主任
2017/06/06 (火) 1時限 08:40～10:30	脳神経の通路	【授業の一般目標】 脳神経の分布を理解するために、頭蓋骨の構造を説明できる。 【行動目標（S B O s）】 1. 頭蓋底の通路を説明できる。 2. 翼口蓋窩の構造を説明できる。 3. 上顎骨周囲の構造を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 脳神経が頭蓋底を通過する部位を復習する。3 0 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有 頭蓋骨標本の観察を行う。	五十嵐 由里子 近藤 信太郎 松野 昌展

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/06/06 (火) 1時限 08:40～10:30	脳神経の通路	【学修方略（L S）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第3実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 f 頭頸部の神経（三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経、副神経、舌下神経） 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 e 頭蓋を構成する骨（神経頭蓋、内臓頭蓋） 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 ア 頭頸部の骨 エ 頭頸部の神経	五十嵐 由里子 近藤 信太郎 松野 昌展
2017/06/07 (水) 1時限 08:40～10:30	健康管理・増進と 予防②	【授業の一般目標】 適切な健康管理を行うために、感染症対策、国民栄養・食品保健および環境保健について理解する。 【行動目標（S B O s）】 1. 感染症対策について説明できる。 2. 国民栄養と食品保健について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 感染症対策と国民栄養・食品保健について概説できる（60分） 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、チェックテスト 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 11 感染症対策 ア 感染症の疫学 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 13 環境保健 ア 環境と適応	後藤田 宏也
2017/06/08 (木) 1時限 08:40～10:30	陶材、陶材焼付用 金属、歯冠用レジン、 切削・研削・研磨用材料、 歯科用レーザー	【授業の一般目標】 陶材、陶材焼付用金属、歯冠用レジン、切削・研削・研磨用材料、歯科用レーザーについて理解するために、それらの基本的性質について学習する。 【行動目標（S B O s）】 1. 歯科用セラミックスの種類、組成および性質について説明できる。 2. 陶材と金属の接合について説明できる。 3. 歯冠用レジンの種類、組成および性質について説明できる。 4. 切削・研削・研磨用材料の種類、組成および性質について説明できる。 5. エアーターピンおよびマイクロモータの特徴について説明できる。 6. 歯科用レーザーの種類および特徴について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：SBOsについて教科書を確認する。 準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 i 切削・研削・研磨用材料 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅺ 歯科材料と歯科医療機器 11 セラミックスの成形技術・機器 ア 陶材の築盛・焼成	西山 典宏

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/06/08 (木) 1時限 08:40～10:30	陶材、陶材焼付用 金属、歯冠用レジ ン、切削・研削・ 研磨用材料、歯科 用レーザー	イ 陶材と金属の接合 8 歯冠修復用材料 ア レジン 2 診療用器械 イ エアータービン ウ マイクロモータ エ レーザー装置	西山 典宏
2017/06/09 (金) 1時限 08:40～10:30	抗感染症薬、抗腫 瘍薬、代謝改善薬、 ビタミン	【授業の一般目標】 薬物療法を理解するために、抗感染症薬、抗腫瘍薬、代謝改善薬、ビタミンに 関する知識を習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 抗菌薬、抗真菌薬、抗ウイルス薬を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。 2. 消毒薬を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。 3. 抗腫瘍薬を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。 4. ビタミンを列挙し、作用機序、副作用を説明できる。 5. 硬組織代謝改善治療薬を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目： ・抗感染症薬の作用機序と副作用 ・抗腫瘍薬の作用機序と副作用 ・代謝改善薬の作用機序と副作用 ・ビタミンの作用機序と副作用 準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、チェックテストの実施 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 ス 抗感染症薬 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 セ 抗腫瘍薬 ソ 代謝改善薬、ビタミン	松本 裕子
2017/06/10 (土) 1時限 08:40～10:30	腫瘍・嚢胞	【授業の一般目標】 病因・病態を理解するために、腫瘍及び嚢胞の病理学的知識を習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 腫瘍の定義について述べるができる。 2. 腫瘍の病理組織学的分類について説明できる。 3. 腫瘍発生の諸段階と転移について説明できる。 4. 口腔・顎・顔面領域に後発する代表的な腫瘍の病理学的特徴について解説で きる。 5. 嚢胞の定義と分類について説明できる。 6. 嚢胞の病理組織学的特徴について解説できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目： ・腫瘍の定義 ・腫瘍の病理組織学的分類 ・良性腫瘍と悪性腫瘍の鑑別 ・腫瘍の分類と病理組織学的特徴 準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有り：WebClass マルチメディア 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 g 腫瘍 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 9 主要な症候 イ 歯・口腔・顎・顔面の症候のとりえ方 a 口腔・顎・顔面の一般的症候（疼痛、腫脹、腫瘍、色調の変化、熱感、 出血、瘻、硬さの異常、触感の異常、機能障害） 歯科医学総論 総論VI 病因、病態	宇都宮 忠彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/06/10 (土) 1時限 08:40～10:30	腫瘍・嚢胞	7 腫瘍 ア 腫瘍の概念 イ 腫瘍発生の病因 エ 腫瘍の発育様式 オ 腫瘍の組織学的構造 カ 構造異型、細胞異型 キ 良性腫瘍、悪性腫瘍 ク 前癌状態、前癌病変 1 1 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 カ 嚢胞 キ 腫瘍	宇都宮 忠彦
2017/06/12 (月) 1時限 08:40～10:30	細胞分裂・細胞周期および情報伝達物質	【授業の一般目標】 再生医療や情報伝達機序を理解するために細胞分裂の機序や情報伝達物質の種類とその機序を学ぶ。 【行動目標（SBOs）】 1. 体細胞分裂と減数分裂の違いを説明できる。 2. 細胞周期の各ステージの意味を説明できる。 3. 細胞周期を動かす力を説明できる。 4. アポトーシスの意味を説明できる。 5. サイトカインとホルモンの特徴を説明できる。 6. 受容体の種類と主なりガンドを説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 2年次に配布したプリントを総合的に見直す。 準備学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 プリント配布 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 ウ 細胞間情報伝達機構 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 a 遺伝子、染色体 b 細胞・細胞内小器官の構造・機能 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 イ 細胞の構造・機能	平塚 浩一
2017/06/13 (火) 1時限 08:40～10:30	口腔粘膜および唾液腺の構造	【授業の一般目標】 人体の構造を理解するために、口腔粘膜および唾液腺の構造を習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 口腔粘膜の構造を説明できる。 2. 口腔粘膜の機能的分類とそれぞれの特徴や該当部位を説明できる。 3. 唾液腺の構造を説明できる。 4. 唾液腺の種類、特徴および存在部位を説明できる。 5. 口腔粘膜および唾液腺の加齢変化を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：口腔粘膜および唾液腺の構造 準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：プリント配布、PPスライド 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 a 口腔の構造（口腔前庭、固有口腔、口蓋、舌、口（腔）底、唾液腺、頬、口唇、口峡、歯列） 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 2 口腔・顎・顔面の構造 カ 唾液腺 総論Ⅴ 発生、成長、発達、加齢 6 加齢・老化による歯・口腔・顎・顔面の変化 ア 形態的变化	玉村 亮

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/06/14 (水) 1時限 08:40～10:30	健康管理・増進と 予防③	【授業の一般目標】 適切な健康管理を行うために、人口・保健統計とその応用について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 人口統計について説明できる。 2. 保健統計について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 人口・保健統計とその応用について概説できる（60分） 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、チェックテスト 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 9 人口統計と保健統計 イ 保健統計 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 10 疫学とその応用 ア 疫学の概念 イ 疫学指標 ウ 統計解析 ク 歯科領域における統計指標 ケ 歯科領域における疫学調査 コ 齲蝕の疫学要因 サ 歯周病の疫学要因	後藤田 宏也
2017/06/15 (木) 1時限 08:40～10:30	病原微生物と感染症	【授業の一般目標】 微生物感染症について理解するために、感染症の種類と起因する微生物について学修する。 【行動目標（SBOs）】 1. 細菌感染症の種類と起因する細菌を説明できる 2. 真菌感染症の種類と起因する真菌を説明できる。 3. ウイルス感染症の種類と起因するウイルスを説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：病原微生物と関与する感染症について学修しておく。 準備学修時間：60分程度 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント、チェックテスト 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 エ 感染症	栗原 紀子
2017/06/16 (金) 1時限 08:40～10:30	興奮性細胞の生理	【授業の一般目標】 神経・筋の機能を理解するために、活動電位について学ぶ。 【行動目標（SBOs）】 1. 活動電位とイオン輸送の関係について説明できる。 2. 興奮伝導の三原則を説明できる。 3. 心筋の興奮の特徴を説明できる。 4. 興奮収縮連関を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：神経と筋の活動電位について確認しておく。 ・準備学修時間： 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 プリントの配布、チェックテストの実施 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】	加藤 治

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/06/16 (金) 1時限 08:40～10:30	興奮性細胞の生理	400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 イ 細胞の構造・機能 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 c 組織（上皮組織、支持組織（血液を含む）、筋組織、神経組織） d 生体構成成分の構造・機能	加藤 治
2017/06/19 (月) 1時限 08:40～10:20	平常試験 5	【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：講義ノート、講義配布資料、教科書、実践問題集等 ・準備学修時間：十分な準備学修時間をとること 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室	6年次学年教育主任
2017/06/20 (火) 1時限 08:40～11:50	補充講義	【授業の一般目標】 総括・整理 【行動目標（SBOs）】 1. 総括・整理 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目： 基礎系科目の復習 ・準備学修時間： 180 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア 医の倫理、生命倫理 a 患者の人権と医療	宇都宮 忠彦
2017/06/21 (水) 1時限 08:40～11:50	補充講義	【授業の一般目標】 総括・整理 【行動目標（SBOs）】 1. 総括・整理 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：総括整理 ・準備学修時間： 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理・社会的問題 a 疾病・障害の概念・構造（社会的関わり）	宇都宮 忠彦
2017/06/22 (木) 1時限 08:40～11:50	補充講義	【授業の一般目標】 総括・整理 【行動目標（SBOs）】 1. 総括・整理 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：総括整理 ・準備学修時間： 180 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし 【学修方略（LS）】	宇都宮 忠彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/06/22 (木) 1時限 08:40～11:50	補充講義	講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念	宇都宮 忠彦
2017/06/23 (金) 1時限 08:40～11:50	補充講義	【授業の一般目標】 総括・整理 【行動目標（SBOs）】 1. 総括・整理 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：総括・整理 ・準備学修時間： 180 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 歯科医療の質と安全の確保 ア 医療の質の確保 a 患者満足度	宇都宮 忠彦
2017/06/24 (土) 1時限 08:40～11:30	補充講義	【授業の一般目標】 総括・整理 【行動目標（SBOs）】 1. 総括・整理 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：総括・整理 ・準備学修時間： 180 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 診療記録と診療情報 ア 診療録、医療記録 a 診療に関する記録（診療録、同意書、処方箋、検査所見記録、画像記録、手術記録、入院診療計画書、退院時要約、技工指示書、模型）	宇都宮 忠彦
2017/06/30 (金) 1時限 08:40～11:00	総合試験	【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：講義ノート、講義配布資料、教科書、実践問題集等 ・準備学修時間：十分な準備学修時間をとること 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室	6年次学年教育主任